

ようこそ「我が家」へ

鵠通信

くぐい (=白鳥) だより



鵠通信(くぐいだより) 第88号
発行日: 平成22年11月1日
発行人: 白鳥政之
住所: 〒430-0814 静岡県浜松市恩地町192 白鳥内科医院
500円
定価:



今シーズンは、私自ら力を振り絞り、インフル注射打ってます。三千本打ちきる迄、ご声援を!

2010年11月号

No.44

あなたからの
嬉しい声♪

「十」の頭痛が、今では「一」までに改善した。(前編)

浜松市中区 鈴木貴恵さん (三十六歳)

自鳥先生、お世話になっております。

先生に診て頂くようになってから一年になります。頭痛がひどく、あげればきりが無いほどの困った状態に疲れ果てていましたが、その頃の「十」の苦痛が、今では「一」までに改善したと思います。本当に感謝しています。

■先生の oscillator 口調に、ほっとしました。

ずっと調子良く過ごしていましたが、この秋、日中の暑さとまぶしさにあつという間に片頭痛に襲われる事が続いてしまいました。内心焦りましたが、常々先生が、

「調子が悪かったら途中で来ればいい」と言ってくださっていた事が心強く、早く受診させて頂きました。「こんな時もあるけれど大丈夫だよ。」という先生のおっとり口調に、ほっとしました。以降、頭痛はおちついていきます。これからも、調子が悪い時がでてきても、それを受け入れられる自分になりつつ、無理をせず。

■私の頭痛は、秋の炎天下には要注意!

自己判断で一年前のような薬物乱用に陥ることのないよう、先生に相談しながら頭痛とつきあっていこうと思います。私の頭痛は、

貴恵さんからののお便りは2度目(前回79号)。訪問看護ステーションにお勤めの優しい看護師さん。



秋の炎天下には要注意!! 来年に生かします。

漢方も体質に合い、体の冷えや生理痛が楽になりました。以前は、冷えるとお腹の調子が悪くなる事が度々ある事も悩みの種でしたが、気づくとなくなっていました。

次号に続く

看護師・X線技師募集。

「当院での対応が良かった」と感じたあなた。まずは、応募者リストに登録を!

診察・CT受付



053-427-0007

頭痛・めまい・物忘れ・「ねたきり」予防

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:30	○	○	○	-	○	○	○	○
15:30~18:30	○	○	-	-	○	-	-	-

脳検査・治療センター

白鳥内科医院

検索

豪&淳
東京だより

「キョービの高校・中学生事情」を教えてくださいの、甥からのお便りです。豪&淳は、子供のいない院長のお友達みたいなもの。ほぼ毎月交互に話題をお送りします。

(その32)

高校三年生、豪

■北京修学旅行記(その1)

●中国の第一印象は？

十月四日からの六日間、北京へ修学旅行に行ってきた。着いてから二三日の間、友人含めぼくたちは中国に対し、決して良い印象を持たなかった。初日のレストランでは給仕が悪態をつくし、料理はとても脂っぽく、日本でよく目にし食べるようないわゆる中華は見当たらない。また空気がひどく悪く、スモッグのためか一寸先のビルも霞んでいる。水道水を誤って飲んでしまった子は病院へ運ばれ、観光先の中国人たちは何か変な臭いがした。至る所に乞食がいて、押し売りが凄く、お金を盗まれた子もいた。ホテルは建てつけが悪くてシャワーを浴びるたびに洗面所は水浸し。バスタオルすら変えてくれない。地下にあったボーリング場、

まばゆい光の漏れるカラオケルームから聞こえてくる中国民謡、それらはどこか高度経済成長期の日本を彷彿とさせ、なんともいえない嫌な心持ちがした。偏見もあったかもしれないが、それを差し引いてもぼくたちには中国の劣悪な環境ばかりが目についた。

●中国の高校生との交流は・・・

しかし、四日目の北京大学附属中学(日本における東大の附属高校のようなもの)との交流を通しそのような一方的な認識は改められた。彼らは皆裕福であり、流暢な英語を話し、高い志を抱き、ぼくらとなんら変わらない、もしくはそれ以上の生活水準のなかで暮らしていたのだ。学校の近くにはセブンイレブンまであり、学校の設備も整っていて、環境の違いは感じられない。彼らのうちに反



万里の長城にて

日感情のようなのを見出すことも出来なかつた。ぼくたちは驚くほどスムーズ



紫禁城にて

ズに打ち解け、拙い英語とジェスチャーでコミュニケーションをとり、アドレスを交換し、一緒にバスケットやドミントンをした。ぼくの交流相手は、牧野(「ぼくや」と読む。わざわざ日本語名を作ってきてくれた。)といい、バスケット部で、お父さんは北京大学の教授、お母さんは名古屋の愛知淑徳大学で教えていたらしい。頭の良さがにじみ出るようなやつだった。

この交流は今回の修学旅行におけるどんな観光よりも印象に残り、交流前の不安が嘘のような一日となった。中国の明るい一面を見ることができた一方で、暗い面との大きな開きも意識されたのだが・・・

(その二に続く)

頭痛・めまい・物忘れ・「わたきり」予防

脳検査・治療センター

白鳥内科医院

検索

診察・CT受付は

☎427-0007 まで。